用言

自立語の中で、**活用があり、単独で述語になる**ことができるものを**用言**という。品詞では、**動詞・形容詞・形容動詞**が用言に当たる。

（例）花が咲く。　花が赤い。　花がきれいだ。

●**動詞**……動作・作用・存在を表す。言い切りが「**ウ段**」で終わる。

（例）話す・咲く・いる

動詞のうち、上の語に意味を補う、本来の意味が薄れた動詞を、**補助動詞**（形式動詞）という。

（例）人が　歩いて　いる。（補助動詞）　※「歩いて　いる」は補助の関係

●**形容詞**……状態・性質を表す。言い切りが「**い**」で終わる。

（例）明るい・楽しい・赤い

形容詞のうち、上の語に意味を補う、本来の意味が薄れた形容詞を、**補助形容詞**（形式形容詞）という。

（例）今日は　暑く　ない。（補助形容詞）　※「暑く　ない」は補助の関係

●**形容動詞**…状態・性質を表す。言い切りが「**だ**・**です**」で終わる。

（例）静かだ・きれいだ・立派だ
静かです・きれいです・立派です

動詞・形容詞・形容動詞の用法

動詞・形容詞・形容動詞は、述語のほか、修飾語・接続語・独立語になる。

（例）動詞………犬が走る。（述）　走る犬。（修飾）
形容詞……景色が美しい。（述）　美しい花。（修飾）　美しく咲く。（修飾）
形容動詞…波が穏やかだ。（述）　穏やかな波。（修飾）　穏やかになる。（修飾）

また、補助動詞と補助形容詞は、上の語と補助の関係を作る。補助動詞と補助形容詞を合わせて、補助用言という。

・補助動詞
補助動詞は主に「～て（で）＋補助動詞」の形で用いられる。
（例）～て　いる　～て　ある　～て　みる
～て　くる　～て　いく　～て　おく
～て　あげる　～て　もらう

・補助形容詞
補助形容詞には「ない・よい・ほしい」などがあり、主に次の形で用いられる。
・形容詞（形容動詞）＋補助形容詞「ない」
・～て（で）＋補助形容詞
（例）～て　ない　～て　よい　～て　ほしい

確認テスト

(1) 次の①～⑥が、動詞ならア、形容詞ならイ、形容動詞ならウで、それぞれ答えなさい。

① 来る〔　　〕　② 大切だ〔　　〕　③ 読む〔　　〕

④ 高い〔　　〕　⑤ 新しい〔　　〕　⑥ 元気です〔　　〕

(2) 次の中から、――線部が動詞であるものを二つ選びなさい。

ア 石灰水（せっかい）が白くにごる。　イ 明日の準備をした。

ウ 私が持ちます。　エ 外は寒かった。

〔　　・　　〕

(3) 次の中から、――線部が形容詞であるものを二つ選びなさい。

ア 駅までは遠かった。　イ 作文を書いた。

ウ わずかな違（ちが）いがある。　エ とても強くなる。

〔　　・　　〕

(4) 次の中から、――線部が形容動詞であるものを二つ選びなさい。

ア のどかな風景だ。　イ 生活が便利になる。

ウ 池に映る月。　エ 海を泳いだ。

〔　　・　　〕

(5) 次の中から、――線部が補助動詞であるものと補助形容詞であるものを一つずつ選びなさい。

ア 机の上に本がある。　イ これは辞書である。

ウ この本がほしい。　エ これを買ってほしい。

補助動詞〔　　〕　補助形容詞〔　　〕

(6) 次の中から、――線部が補助形容詞「ない」であるものを選びなさい。

ア あまり時間がない。　イ これは正しくない。

ウ 部屋がきたない。

〔　　〕